

■カーボン・オフセット



- まず自身の排出量を認識(見える化)し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量を、他の場所での排出削減・吸収量(クレジット)で、その全部又は一部を埋め合わせる(オフセットする)こと
- ある事業者のビルの排出量を見える化し、省エネなどの削減努力を実施できる部分については事業者が取り組むことができるが、すべての事業活動を止めて電気を使わないわけにはいかない。このため、どうしても削減できない事業活動をオフセットするために、例えば海外で実施された排出削減プロジェクトで埋め合わせる仕組みをカーボン・オフセットという
- よって、例えばある工場での排出削減量をクレジットとして発行し、同じ事業所のオフセットに用いることは、カーボン・オフセットではなく単なる削減努力でありこの仕組みに当てはまらない

■カーボン・オフセット



●環境省指針に基づく、カーボン・オフセットの類型

①カーボン・オフセット型の商品・サービス

(クレジット付きの商品・サービス)

②カーボン・オフセット型の会議・イベント

(国際会議やスポーツ大会など、開催に伴う温室効果ガスの排出を埋め合わせるもの)

③自己活動オフセット

(家庭の電気・ガスの使用量のオフセットや、企業の本社ビルの電力使用等をオフセットするもの)